

ライフスキル教育プログラムについて

Q 青少年が人間関係など日常で体験する様々な困難を上手に乗り越えるために必要なスキルを学び、自尊心の高い人間として成長するのを支援するのがライフスキル教育プログラムです。本年2月に民間ボランティア団体との共催で行われたセミナーへの参加状況について、現在に至るまでの、学校・教員の取り組み事例について伺います。

森 伸一

A 各小中学校の校長、教頭、教務主任、総合的な学習の時間主任、教育心理・教育相談主任、さわやか相談員及び

びボランティア相談員、そして各小中学校のPTA関係者、総計49名の参加でした。

その後、4月に中学校教員1名、8月に小学校教員1名が規定のワークショップに参加し、中学教員の学校では、11月下旬にライフスキル教育プログラム

の内容等を紹介する研修会を実施し、その後、平成20年度の教育課程への位置づけ及び校内研修においてワークショップを開催すること等について検討をしていく予定です。

子ども問題総合窓口について

Q 生活が大変不安定になってきている中、そうした世帯の子育てを社会的に支援する仕組みが問われています。子ども問題で困ったことがあったら、まずそこへ行って相談すれば、色々な手当や制度を利用できるように、対応してくれる総合窓口があれば安心です。設置の考えをお聞かせします。

郡司 伶子

A 相談窓口の選択肢が多いことは相談者にとっても望ましいことですが、相談する側にとって、多くの窓口の中からどの窓口を選択し相談すべきか分かりにくい面があることも否

定できません。総合的な受け皿としては、家庭児童相談室または子育て支援課の窓口で対応し、関係する機関への連絡を行っています。小さな悩みでも抵抗なく相談できる親しみやすい相談窓口となるよう努めてまいります。



道路整備について

Q 八條地区の市道1384号線は、県道平方東京線が中川の堤防と交差し急カーブする場所から、綾瀬川放水路までの舗装幅員2・7mから3・6mほどの道路です。車の通行もかなりあり、すれ違いに苦労している状況です。堤防の形態がまだ残っていますので、大幅な改良は難しいと思いますが、車のすれ違いができるような待避所があればと思います。ご見解をお伺いします。

大山 安司

A 道路整備につきまして、所管の国土交通省関東地方整備局江戸川河川事務所と

協議を行って参りましたが、現在も堤防として機能していることから、現道の全線拡幅は困難とのことでした。ご提案の、車の待避所的な構造（盛土）での対応が可能なところ、現道の舗装打ち替え工事と、数箇所の待避所の設置を行うことについて、内諾を得ることができました。今後は、地元関係者の協力を得ながら、施工して参りたいと考えております。

有機農業の推進について

Q 2006年12月15日に国会において、有機農業に関する法律が施行されました。埼玉県においても、本年5月に有機農業の推進を目的とする埼玉県有機農業者協議会を設立しました。本市としての有機農業の推進計画の取り組みについてお尋ねします。

吉田 準一

A 本市としての有機農業の推進の取り組みについてでございますが、本市は都市型農業として土地の集約性の高い農業を営んでいる地域であり、また、安全・安心、新鮮な野菜を産出するため、土壌管理の重要性、有機質肥料を主体とした低農薬栽培への取り組みについての意識が高まってきております。「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律」通称「持続農業法」に基づくエコファーマー制度への加入を推進しているところでございます。今後におきましても、有機農業の推進に努めてまいりたいと考えております。

防災行政無線について

Q 無線の内容が聞き取りにくい地域の対応について。

服部 清二

A 市内には防災行政無線の子局が58箇所設置されているが、気象の変化や建物の影響により、放送内容が聞き取りにくくなる場合があります。現在、設置から19年近く経過し、施設の老朽化もあるが、その間、住宅建設等の開発が進み地域環境の変化に伴い当初設置した子局の場所では聞こえにくい等、市民の方からの意見も寄せられたため、平成12年8月よりフリーダイヤルのサービスを開始しました。また、現在75デシベル

の音量を、災害時には100デシベルを超える音量で情報等の周知をして参りたいと考えています。つくばエクスプレスの開業に伴う南部地区内の開発や今後の住宅密集も考えられることから、今後の地域環境の変化を踏まえ、良好な防災行政無線の運用が図られるよう日頃の整備点検に努めるとともに今後の対応についても関係部署と協議していきたいと考えています。

交通渋滞緩和、右折信号について

Q 主要地方道松戸、草加線から、八潮駅北口へ向かう右折信号の設置について、朝夕、大変交通渋滞をしてしまい強い住民要望があります。右折信号の設置についてお尋ねします。

小倉 順子

A この路線は将来的には道路幅員27メートルの八潮南北線として供用開始される道路でございます。右折車線も三郷線の北側で減速分も含め100メートル、南側で60メートル確保される道路でございます。今後、完成形の交差点になれば、右折信号機の設置を要望する予定です。早期に整備していただくよう土地区画整理事業者に要望してまいりたいと考えております。

